

## お米の愛にあふれた 日本一長い、おせんべい工場。 オランダせんべいFACTORY

酒田米菓の「オランダせんべいFACTORY」は  
日本一長いおせんべい工場。  
この工場には  
日本一大きい「お菓子づくりのこだわり」が詰まっています。  
私たちにできることは、お米にたっぷりの愛情を注いで  
おいしいお菓子をつくること。  
そのお菓子がきっと、「お米の明るい未来」を  
つくってくれると信じています。  
見て、食べて、遊んで…お米の愛にあふれた  
「オランダせんべいFACTORY」で  
思いきり楽しい一日をお過ごしください。



オランダせんべい  
FACTORY  
元祖うすやきせんべい  
酒田米菓

これは、私たちからみなさまへのお手紙です。  
どうぞ聞いて、お読みください。

はじめまして。酒田米菓株式会社代表取締役の佐藤栄司と申します。  
私が社長に就任したのは2014年11月。まだまだ「新米」の社長です。  
「新米」と言えば、みなさんが毎年、待ち焦がれるお米ですね。  
私もみなさんの期待を裏切らないよう、精一杯、頑張りたいと思います。  
今回はご挨拶を兼ねて、私が「オランダせんべいFACTORY」を  
ご紹介させていただきます。

### はじまりは1枚の絵から。

私がまだ高校生の頃、酒田米菓の創業者である叔父・佐藤栄一が、1枚の絵を  
見せてくれました。「どうだ、こんな工場があたら楽しいと思わないか？」  
それは、最上川を背景にした観光工場の絵でした。  
おせんべいを類張る家族連れの、たくさん笑顔で溢れています。

工場が観光工場に変わるなんて、思ってもみなかったこと。そのときはただ、叔父の  
夢物語を聞いているような、ちょっと不思議な気持ちでした。

時が過ぎ、私が酒田米菓を継ぐと決意したとき、頭の中にと、あの絵が  
浮かびました。

「叔父はなぜ、観光工場をつくりたいと思ったんだろう？」

あの1枚の絵が、私たちの将来を示してくれる、  
大切な道しるべとなりました。

### どこにもない、

### 新しいせんべいをつくりたい。

酒田米菓の創業は、昭和26年。

米どころ庄内に生まれ育った叔父は、

地元のお米を使って、「おせんべいづくり」を始めました。

その味は評判を呼び、会社は順調に大きくなっていきました。

やがて時代は高度経済成長期に。三種の神器といわれたテレビ・洗濯機・  
冷蔵庫が家庭に普及し、食生活もパンや肉といった欧米化が進みました。

「このままではやがて飽きられてしまう。まだどこにもない、新しいせんべいをつく  
ろう！」と、叔父は決意します。その当時のおせんべいは、しょう油味の厚焼き、  
のものばかり。どの会社も新しいせんべいをつくることなど、考えてもいませんでした。  
厚焼きのせんべいの課題は、何枚か食べるとお腹がいっぱいになること。

「何枚食べても飽きのこない、薄いせんべい」を目指して、新しい挑戦が始まりました。  
しかし、失敗の連続。工場には大量の割れたせんべいが山積みになりました。  
「こんな中途半端な薄さではダメだ！」叔父は決して妥協しません。

せんべいの生地づくりにも徹底的にこだわりました。おいしいせんべいは生地が命。  
理想の生地を追求して、気が付けば、日本一長いせんべい工場になっていたのです。  
そしてついに、厚さ3ミリのサクリ軽いせんべいが誕生しました！  
みなさんもご存知の「オランダせんべい」です。



## 社長の手紙 読者限定! オランダせんべい6パックセット



価格 **4,000円** (税別) **送料込**

内容

- オランダせんべい小袋 (2枚×12袋) : 2パック
- オランダせんべいチーズ味小袋 (2枚×12袋) : 2パック
- オランダせんべい桜えび味小袋 (2枚×12袋) : 2パック

包装: 有り(化粧箱を包装紙で包装します)

ご注文は、下記 URL、またはQRコードより、お申し込みください。

<http://sakatabeika.jp/SHOP/y0000001163/list.html>  
ID「oranda」 パスワード「123」



お電話でもご注文いただけます。

**0120-000-204**

(土日祝日を除く9:00~17:00受付)

\*「社長の手紙を読んだ」とお話しください。



ACCESS 酒田米菓株式会社(オランダせんべいFACTORY)  
〒998-0832 山形県酒田市両羽町 2-24  
オランダせんべいFACTORY専用ダイヤル 0234-25-0071

「オランダせんべい」の名前の由来は、地元の方言  
「おらだのお米でつくった、おらだのせんべい」から。  
「おらだのせんべい」と胸をはりたい気持ちがよくわかります。  
こんなに苦労してつくったせんべいなのですから。  
おかげさまで、「オランダせんべい」はみなさまに長く愛され、  
「東北のソウルフード」と呼ばれるような、ロングセラー商品に育ちました。



### 起業者の夢を叶えよう!

酒田米菓の後を継いだ今、「観光工場をつくりたい!」と願った叔父の気持ち  
わかります。新しい、感動のある商品づくりを目指した叔父は、その感動を  
お客様と共有したいと願ったのだと思います。お客様の笑顔に直接、接する  
ことができるのは、工場で働く人間にとって、とても幸せなことなのです。

2014年11月1日、社長就任の日。

私は朝礼で、「工場を観光工場に変える、みんなが起業者の夢を叶えよう!」  
と告げました。もちろん、みんなびっくり!「就任早々、この社長は何を言い出  
すのだろう?」と思ったに違いありません。

周囲の戸惑いをよそに、観光工場のオープンは、翌年の8月に決めました。  
内心では「9ヶ月でオープンは難しいかな?」と心配はありましたが、そこは  
もともと猪突猛進の私。一度、口に出したことは決して曲げません。

就任の日からプロジェクトチームをつくり、  
動き出しました。それからもう大変!

「見学の通路をどう確保するか?」「展示は?」  
「お客様へのおもてなしは?」

と決めなければならぬことが山積みで、  
寝る間もないほどの毎日が続きました。

2015年8月29日。おかげさまで、  
「オランダせんべいFACTORY」は、無事に

オープンの日を迎えることができました。オープンを迎えるまでは不安でいっぱい  
でしたが、楽しみに駆けつけてくださったお客様のお顔を見ると、疲れも吹っ飛び  
ました。本当に、スタッフはよくやってくれました。

オープンしてからの初年度は、私たちの想像をはるかに超える10万人以上の  
お客様にご来店いただきました。多くのお客様から、「楽しかった!」「また友達を  
誘ってきたい!」といった、うれしいお声をたくさんいただくことができました。

何よりうれしかったのは、社員の顔がガラリと変わったこと。「お客様に楽しんで  
いただくたい!」という責任感と自分の仕事に対する誇りが、一人ひとりの心の  
中にしっかりと芽生えています。

まだまだ不慣れな私たちですが、ぜひ一度、「オランダせんべいFACTORY」に  
お越しください。全社員が一丸となって、心からの笑顔で、  
みなさまをお迎えしたいと願っています。

酒田米菓株式会社代表取締役

佐藤栄司

